

太平洋セメントの社会的価値

廃棄物などをリサイクルしてセメントを製造することで、廃棄物最終処分場延命などの社会課題解決へ貢献しています。また、大規模自然災害が発生した際には、セメントの供給はもとよりがれきの受け入れによって被災地の復旧復興に役立っています。



つくる

太平洋セメントのすごいところ

セメント1トンをつくるのに
廃棄物など400kg以上使用

- 日本のセメント産業の廃棄物・副産物の使用量は、国内循環利用量の約11%に相当します。
- 当社グループの国内工場では、地域社会や他産業で発生する廃棄物・副産物を代替原料として利用しています。セメント製造1トンあたりに換算して400kg以上となります。
- 地震・台風などの自然災害が発生した際にはがれきなどの災害廃棄物をセメント資源化処理します。

石灰石(主原料)

セメント工場

廃棄物・副産物等
(代替原燃料)

- 都市ごみ、●ごみの焼却灰、
- 上水・下水汚泥、
- 各種産業廃棄物、
- 建設発生日土、●石炭灰、
- 高炉スラグ

なと

セメント

高温焼成で有害物質を完全に無害化

- セメント工場では、大きな回転窯（キルン）を使い、約1,450℃の高温で焼成してセメントを製造しています。
- この高温での焼成により廃棄物をセメントの原料料としてリサイクルすることができます。なお、ダイオキシンも高温により分解されます。

リサイクル
する

社会を支えるセメント製品

社会を支える重要資材としてのセメント

- セメントは道路や橋、建物などの様々な社会インフラ・生活環境整備に利用されています。当社グループは国内外あわせて年間約3,000万トンという販売数量が示す通り、環太平洋において安定供給体制を整備しています。
- 激甚災害に対する予防や減災といった備えとともに、早期復旧・復興を支える技術の展開、普及や新規技術の開発も進めています。

	減災・災害の予防保全・対策	災害復旧	早期復興
保有技術の展開・普及	高耐久・高強度技術の普及・SFGC、ダクトアル、PFC強靱化対策技術(セメント系固化工材)	早期硬化材料・工法の普及 災害廃棄物の処理技術	早期硬化材料 工法の提案
新規開発提案	150Nクラスの高強度コンクリート技術 予防保全対策技術	新規構造物診断・補修材工 処理困難廃棄物の処理技術	プレキャスト化の推進 急速施工・省力施工技術

津波・高潮に
備えるセメント

災害復旧・復興を
支えるセメント

土砂災害に
備えるセメント

移動・輸送の利便性
向上させるセメント

安全・安心な空間を
提供するセメント

スポーツ・文化の発展に
貢献するセメント

地震に備える セメント

社会から発生する
廃棄物・副産物等

当社グループ受け入れ量 **675**万トン
(2024年度実績)

あつめる